

2012年5月版

0歳の予防接種 スケジュール

ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日

0歳の赤ちゃんをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、生後2か月になったらできるだけ早くワクチンを受けることが大切です。ワクチンの種類、接種回数が多いので、かかりつけの医師と相談のうえ同時接種で受けましょう。

ワクチン名	接種済み ☑	誕生	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳
不活化ワクチン 注射器 B型肝炎 任意	□□□			①	②						③			
生ワクチン 注射器 ロタウイルス (2回接種・3回接種) 任意	□□ □□□			1	2									
不活化ワクチン 注射器 ヒブ 任意	□□□□			①	②	③								④
不活化ワクチン 注射器 小児用肺炎球菌 任意	□□□□			①	②	③								④
不活化ワクチン 注射器 三種混合 (DPT) 定期	□□□□				①	②	③							④
不活化ワクチン 注射器 ポリオ(単独) 定期	□□□□													
生ワクチン 注射器 BCG 定期	□						①							

必要回数を接種するためには、生後2か月になったらすぐに同時接種で受けましょう。

2012年11月以降、不活化ポリオワクチンを含む四種混合ワクチンに切り替える予定です。

ロタウイルスワクチンは2種類あります。できるだけ生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの必要接種回数を受けましょう。

接種費用の助成制度があります。お住まいの自治体に確認してください。

1歳代の追加接種を忘れずに受けましょう。

2012年9月から導入する予定です。

個別接種の場合はヒブ・小児用肺炎球菌・三種混合などと同時接種で受けられます。

不活化ワクチン

不活化ワクチン



注射・スタンプ式

定期

定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。

生ワクチン

生ワクチン



経口

任意

多くは有料(自己負担)。ワクチンによっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

同時接種

同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。日本小児科学会は乳幼児の接種部位として大腿外側部も推奨しています。くわしくはかかりつけ医にご相談ください。

定期予防接種の対象年齢

任意接種の接種できる年齢

🔗 おすすめの接種時期(数字は接種回数)

●次にほかの種類のワクチンが接種できるのは、不活化ワクチン接種後は1週間後の同じ曜日から、生ワクチン接種後は4週間後の同じ曜日からです。

詳しい情報は <http://www.know-vpd.jp/>

VPD

検索